

2019/02/10 (日)

合宿C班

霧訪山 (11305m) ~大芝山 (1210m) 周遊 下西条コース

メンバー：F、Tus、会員外 1

合宿とは言っても冬山経験の浅いC班は自分たちの力量に合った里山に行く事にした。

3日前までは山の天気予報Cの不適となっていて悩ましい状況となっていたが、前日には最適のAとなり、さすが晴れ女3人！！である。

山の神自然園駐車場に先着車は一台も無く、晴れ予報とは裏腹に少しガスっている。薄い足跡がかすかにあるが昨夜の降雪で新雪状態。10センチ位ではあるが歩き出すと雪の下はアイスバーンになっており、平らなのにいきなり滑って転びそうになる。10分くらい先の登山口からアイゼンを装着した。

昨夜の降雪のお蔭で木々の枝にはふわふわの雪が綿状に降り積もっており「きれいだね！～」と思わず声をあげる。里山らしく緩やかな登り、雪景色を見ながら登る。大芝山分岐に差し掛かる頃には青空が見えてきた。空の青に白い雪の花をつけた木々のコントラストが美しく映える。大芝山分岐を過ぎたあたりでもう下山してくる男性と会う。山頂には北小野からの登攀者が何人かいた模様。地元の方らしく「北小野コースより自分は勾配の長いこちらのコースの方が好きだから」と言っていた。北斜面の景観が無い雑木林のこのコースはあまり人気が無いのだが。

男坂は急登でアイスバーンになっており、頼りないロープとストックで何とか突破。ちょっと苦戦した。分岐～山頂まで積雪は20センチ位、急登を登りきると霧訪山山頂に到着。誰もおらず、360度の展望が一気に目の前に広がる。風は無く青空が広がり、お日様の暖かい日差しに包まれた。二等三角点と立派な方位盤があり山々の名前が確認できるのは有難い。八ヶ岳は雲が少しかかってはいるが良く見え、合宿A・B班のことを思う。小野、塩尻の集落。経ヶ岳、北アルプスを見ながら10:45まだ早いけどベンチに腰掛け昼食とする。女性3人。それぞれの手作りおかずを交換。海老フライ、いちごも堪能。豪華？な昼食会。

北小野からの登山者、男性がそれぞれ3人登ってきて色々なルート、山の名前を詳しく説明してくれた。この山は鉄塔銀座、送電線の通り道と化しており、かわいそうになる。

すっかりのんびりてしまい50分余りいたか。残念ながら大芝山方面に縦走する人は誰もおらず、何となく不安に感じながら出発する。

男坂は急坂の為、下りは女坂を下り（楽だった）大芝山へと向かう。来るときにはなかったトレースがついておりちょっと安堵する。が足跡が反対向きだったのでどうやら「うとう峠」からの登山者の足跡か。ほどなくして「うとう峠」から来たと言う女性3人とすれ違う。大芝山へは一旦下り尾根道を行く。所々30センチ以上の吹き溜まりがあり難儀する。

鉄砲を担いだ猟師さん1人と会う。イノシシ狩りとの事。ここより下の方でやるので大丈夫とのことだったが、少し怖いね。まもなく大芝山に到着。山頂は展望なくすぐ下山へと向かう。ここからは全くトレース無し。鉄塔と赤い目印を頼りに進む。赤い目印の間隔が長く不安になる。やっと見つけた目印の何とか細く小さいことか。もっと間隔短く目立つ印にしてほしい！ それでも冬山経験の一番あるリーダーFさんは心強い。何とか下界が見えてきて安堵する。最後の30分位が歩くのに難儀した。歩くうちにアイゼンに落ち葉と雪が団子状に挟まりまるで高下駄のようになってしまう。その度に塊を落としては歩くはめになりなかなか進めない。後ろから来た男性にすいすい抜かれたが、途中でアイゼンは外してきたとの事。早く外せば良かった。山頂でのんびりした分下山時刻はちょっとオーバーしたがおおよそ予定通り下山出来た。今年は雪が少ない年だが、ほどほどに雪もあり合宿らしい山行ができる良かったかな。

【コースタイム】

茅野 7:00 → 8:15 塩尻、山の神自然園駐車場

駐車場 8:30～雄床山神社～たまらずの池～霧訪山登山口～34番鉄塔～大芝山分岐～男坂・女坂分岐

～10:45 霧訪山山頂 大休憩 下山開始 11:35～大芝山分岐～鉄塔～12:40 芝山山頂～37番鉄塔

～洞ノ峰西條城跡～26番鉄塔～山の神神社～14:10 山の神自然園駐車場

